



Kanto Photo Association

2025年 1月1日

Rainbow

新年のごあいさつ 1

関東写真館協会

2025年 新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様・関東役員の皆様の協力をいただき、2期4年の関東写真館協会会長任期最終年度となりました。多くの方々に支えられ、関東事業に携われたことに感謝申し上げます。また、日頃より多大なご協力をいただいている日本営業写真機材協会様をはじめとするメーカー商社様、事業に積極参加をいただいている都県会員の皆様のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

『2024 関東写真館協会神奈川県大会』を横浜の地にて多くの皆様のご参加をいただき開催することができました。企画設営いただいた中野神奈川県会長・田代実行委員長をはじめとする神奈川メンバーの Google フォームや

LINEを使った新たなる試みへの挑戦と、想いの詰まった大懇親会、この場を借りて神奈川県メンバーの皆様のご尽力に感謝申し上げます。

さて、一般社団法人日本写真文化協会の四ツ谷にある日本写真会館を2025年7月より2年少々を掛けて新しいビルへと建て替えをする関係で、関東写真館協会の事務所所在地がその間変更いたします。新しい仮移転先に関しましては決まり次第総務局と広報部を通して皆様にご案内申し上げます。特に都県会長理事長様には会議等にて会館を使用できずご不便をお掛けいたしますが、ご理解の程お願いいたします。

コロナウイルスが日常化し通常の生活が戻ってきた感があるものの、営業写真館を取り巻く環境はコロナ前に戻らず、厳しい状況が続いていることと思います。関東写真館協会では、独自事業のほかに、日本写真文化協会と日本写真館協会と連携し、皆様に有益な情報やセミナーを出来るだけ幅広く・数多くご提供できるよう取り組んでまいります。詳細はレインボウ・写真文化・THE写真館等の広報誌をご覧ください。幸いです。

最後になりますが、会員の皆様やそのご家族様が健康で明るく豊かな年となりますよう祈念申し上げます、新年の会長挨拶とさせていただきます。本年もよろしく願い申し上げます。



関東写真館協会会長
隈川 英孝



群馬県営業写真家協会

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

世の中が目まぐるしく変化し、システムや機材の進歩スピードに翻弄されて日々を過ごしております。改めて我々の業界は機械への依存度が高い業種だと痛感しております。

さて、今年は関東大会が群馬にて開催されます。会員数が一番少ない都県ですが思いは何処にも負けないつもりで準備を進めております。必ず素晴らしいと思ってもらえる大会にいたしますので参加の程よろしく願いいたします。

関東写真館協会副会長 群馬県営業写真家協会会長
吉井 信義



千葉県写真家協会

新年あけましておめでとうございます。皆様には健やかに新春を迎えることと謹んでお慶び申し上げます。

昨年は『生成AI』が日本写真文化協会の新年会でも、関東写真館協会神奈川大会でもキーワードとなっていました。千葉県の青年部勉強会に於いても各自の使用している生成AIソフトの活用法が発表され刺激を受けました。まさに私にとって生成AI元年でした。

今年はそれをどう活用するか!!

今年は巳年!! へびどしは「成長」「変革」「復活と再生」の象徴とされており、新しい挑戦や変化に対して前向きに対応していきたいと思えます。

また、来年の千葉大会に向け魅力ある企画等準備を進めて参りたいと考えております。

本年もよろしくお願い申し上げます。

関東写真館協会副会長 千葉県写真家協会会長
重 良明



協同組合東京都写真館協会

新年、あけましておめでとうございます。

昨年はAIをはじめとする新しい技術の台頭により急激に社会のあり方が変化する時代において持続的成長を可能にするため、経営、撮影環境の変化にスピーディーかつ柔軟に適應するため企画していただいた各種セミナー、懇親会に参加することができました。今年も同等のエネルギーを皆様と一緒に、撮影、スタジオ経営を継続、情報交換など、進歩、実現できるよう努め、また顧客サービスの提供価値を高め既存事業の収益基盤を少しでも改善、拡大するとともに、新たな事業領域で我々が挑戦を通じてセミナー、懇親、情報提供、集いを実施したいと思えます。

本年も変わらぬご愛顧を承りますようお願い申し上げます、皆様のご健康とご多幸をお祈りして、新年のご挨拶とさせていただきます。

関東写真館協会副会長 協同組合東京都写真館協会理事長
植村 栄一



茨城県写真館協会



新年明けましておめでとうございます。

本年は金運や財運のシンボルとされている巳年です。さらに巳年が連想させる復活や再生は今の我々写真館業界に重ね合わせて考えざるを得ません。

この数年で冠婚葬祭のあり方が大きく変容し、その影響を受けている写真館も少なくないことでしょう。

誰もこのことを予想できなかったのではないかと思います。

当たり前であったことが当たり前でなくなることに常に備えること、そして再生、復活を賭けて大いにチャレンジする年になるのではないかと思います。

そして今後も我々写真館業界がより豊かに、皆様の元に大きな金運と財運が届きますよう祈念しまして年頭初の挨拶とさせていただきます。

関東写真館協会副会長 茨城県写真館協会会長
市川 薫

埼玉県写真館協会



関東写真館協会の皆さん、あけましておめでとうございます。本年も皆さんと共に新しい年を迎えることができたことを、心より感謝いたします。

私たち写真業界もコロナ禍をきっかけに作業内容が大きく変化しました。

学校・幼稚園保育園の行事の写真選びや申し込みがネット主流に変わりました。

そして昨年は写真修整がAI加工レタッチソフトで時短が可能になりました。

つい5年前までは想像もつかなかった事です。

本年は、どんなワクワクする事が起きるのでしょうか楽しみです。

会員皆さんと楽しめるよう協会活動をしたいと思います！

本年も宜しく願い申し上げます。

関東写真館協会副会長 埼玉県写真館協会会長
川戸 新一郎



栃木県写真館協会

新年あけましておめでとうございます。

昨年、昔お世話になった元校長先生が所用で来店され、久しぶりに昔話に花を咲かせながら楽しいひとときを過ごしました。その際、「お金になるわけではないのにお邪魔して申し訳ない」とおっしゃって帰られましたが、私は昔の写真館が地域のサロンのような役割を果たしていたことを改めて思い出しました。

今、効率化が進む時代にあっても、私たちが大切にすべきは、地域の皆様との温かなつながりだと強く思います。写真館は単なる商売の場ではなく、地域に愛される存在であり続けることが何より重要です。これからも顔の見える営業を通じて、地域との絆を深めてまいりたいと考えております。

本年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。皆様にとって実り多き一年となりますようお祈り申し上げます。

関東写真館協会副会長 栃木県写真館協会会長
小林 伸司



神奈川県写真師会

新年明けましておめでとうございます。今年も宜しく申し上げます。

昨年の神奈川大会におきましては、多勢のご参加、ご協力をいただき改めて御礼申し上げます。

大会は若い世代が中心となり運営致しました。当然考え方やスキルは我々年寄りとは異なりますが、神奈川に対する思いというのは、先達のそれをしっかりと受け継ぎ誇れる後輩に育った事をこの機に確認出来た事は、大会成功以上に喜ばしく思いました。

さて、終わりの見えない紛争、世界的な政情不安、国内外リーダー達の問題等明るい未来が読めない今、景気も低迷しております。

消費者はコスパをより意識し、業界も大きな資本の写真館と低価格のフリーランスの二極化になった気がします。

景気回復と打開策が見つかるまで当面はお客様に「きめ細かな対応と仕事」を、今年の抱負にと思っております。

関東写真館協会副会長 神奈川県写真師会会長
中野 聖士

